



8月の予定

2026年7月15日

月主題 月のねがい

野毛山幼稚園

今月の聖句

平和な人には未来がある。

詩編37篇37節

主題	年少もも組	年中ばら・年長くるみ組
平和を 祈りあう (年少)	神さまに愛されている自分・家族・ 友だち・世界の人々が穏やかで平 和であることを保育者とともに願 い、祈る	イエスさまが私たちに平和を創り出す ことを望んでおられることを知り、平 和について祈り合う
平和を 祈りあう (年中長)	保育者に支えられながら、遊びの 中で感じたこと、考えていること をことばで表し、伝える経験をす る	経験したことや感じたことを言葉や 様々な方法で表現する。暑い夏を健康 で安全に過ごすことを意識して生活し ようとする
	海、森、入道雲、カブトムシなど暑 い夏に生き生きする自然・命に触 れて過ごす	ゆったりとした生活を送り、自然現象 (夕立ち、台風、雷)や生き物など、自然 の営みや命の大切さを知る

予 定

日	曜	予 定	備 考
27 31	木 月	緑陰保育	11時30分降園



8月、わたしたちの国では特に「平和」について考え、
平和の尊さを実感する時です。
広島に原爆が落とされた8月6日、長崎に落とされた
8月9日…毎年それぞれの日を迎える度に、平和への
想いを新たにします。
子どもたちは礼拝でいつも「シャローム」と挨拶をし
ます。
聖書の中に、「その家に入ったら、「平和があるよう
に」と挨拶しなさい。」(マタイによる福音書10章12節)とありま
す。「シャローム」とはヘブライ語で「平和」を意味し
ます。シャロームとは戦争がないというだけではなく、「健全さ」「完全な状態への回復」という意味があ
り、神さまの愛に満ちている世界を言っています。聖
書は「平和」の対語は「神さまと人との和解」であると
教えてくれています。
希望はシャロームの人にあります。
素晴らしい神さまの約束です。
平和への道は足元から。私たちには大きなことはでき
ませんが、「平和」を祈り続けてまいりましょう。

年 少(もも組)	年 中(ばら組)	年 長(くるみ組)
規則正しい生活をおくる。 できることは自分でするようにする。 食事の前にお祈りをする。 公共でのマナーを知って守る。 はじめてのこともやってみる。 緑陰保育に参加し友だちとの再会を喜びあ う。 園生活のリズムを取り戻す。 	規則正しい生活をおくる。 自分でできるお手伝いを続ける。 お祈りの生活をする。 食前のお祈り 一日の終わりの祈り… 公共のマナーを守って過ごす。 さまざまな経験を通して感性豊かな生活をお くる。 緑陰保育に参加し友だちとの再会を喜びあう。 園生活のリズムを取り戻す。	規則正しい生活をおくる。 自分でできるお手伝いを続ける。 お祈りの生活をする。 食前のお祈り 一日の終わりの祈り…  公共のマナーを守って過ごす。 さまざまな経験を通して感性豊かな 生活をおくる。 緑陰保育に参加し友だちとの再会を喜びあう。 園生活のリズムを取り戻す。

八月や、六日、九日、十五日
はちがつや、むいか、ここのか、じゅうごにち
広島原爆の日 長崎原爆の日 終戦記念日

毎年この川柳を紹介しています。
8月は日本にとって「平和」について考
えなくてはならない時です。

ロシアのウクライナへの侵攻から4年。イラン、イスラエル、アメリカ… 未だに戦争の火は消えません。
やられたらやり返すと考え…大切な命が奪われています。日本国内でも犯罪が増え、信じられないような事件や事故が毎日のように起
こっています。辛さに耐えられずに命を落とす人もいます。真の平和はいつ実現するのでしょうか。
私たちは本当に小さなものですが、あきらめず、希望をもって、私たちのできることをしていきましょう。
戦争を体験した方も少なくなり、戦争の悲惨さを知らない世代が多くなってきています。再び戦争をする国になってしまうのではないかと心配もあります。おとなも子どもも戦争の悲惨さを考える機会を大切にしたいと思います。

◇「平和」ってなんだろう…

それぞれの年齢に応じて考え、具体的にどうしたらよいか、身近なことで考える機会を持ちましょう。

仲良くする お友だちのことを考える 嫌な気持ちになることを言ったり、やったりしない…等

◇神さまからいただいた「いのち」を大切に思う ◇平和の絵本を読もう

◇平和に安心して暮らせないお友だちがいることを知る。

